

自主的な笑顔の活動～ボランティア連絡協議会の総会・研修会開催～

町内の各種ボランティア相互の連絡、連携、交流を図り、地域福祉の向上に貢献することを目的とするボランティア連絡協議会（山田信雄会長）の平成30年度の総会が、協会館において開催されました。お互いのボランティア活動を理解するため、各グループから昨年度の活動報告や今年度の活動計画が発表されました。また、花火大会翌朝の一斉清掃や共同募金活動、ボランティアについての研修会など連絡協議会として一緒に取り組む事業が決定しました。総会終了後は平成30年度で閉校が予定されている熊本県立多良木高等学校の粟谷雅之校長先生より「ボランティア活動を通じて目指したものは、多良木高校の実践」を演題に講話をいただきました。ボランティア活動で「ありがとう」と言われたことがうれしくて、自主的に次のボランティア活動に参加する生徒を例に、ボランティアは、相互に笑顔が生まれる、笑顔の活動だとお話しいただきました。また、「地域があるからボランティアの機会と場が生まれ、地域の一員としての自覚を持ち、公共へ参画する態度を養うことができました。」とボランティアの教育的な意義や感想を述べられました。ボランティア活動の基礎に立ち返り「自発性」「無償性」「社会性」を大切にしたい笑顔の活動を再確認することができた講演会でした。



～年齢を重ねてもいつまでも地域で元気に生活するために～
いきいき百歳体操の説明会

今回、地域住民に寄り添い、福祉活動を実践されている民生委員・児童委員の皆さんに、地域住民が自ら取り組む介護予防にむけて、「いきいき百歳体操」の説明会を実施しました。高知県発祥のこの体操は、動画を見ながら主に椅子に座って簡単に、安全に取り組むことができるリハビリテーションの理念を踏まえた体操です。

現在、多良木町でもモデル地区で実施され、週1回、公民館などに集まって体操を行うことで、閉じこもりなどの予防にも効果があり、高齢になっても、いつまでも地域で元気に生活するための取組の一つとなっています。

民生委員・児童委員の皆さんも説明を熱心に聞かれて、活発な意見交換が行われました。取組に対して地域で周知したいなど、前向きな意見が聞かれました。



男性会員のグランド・ゴルフ大会開催

毎年新緑の5月に多良木町老人クラブ連合会（米満己敏会長）では、男性会員だけを対象としたグランド・ゴルフ大会を開催されています。

今年も、世代間交流グランドにおいて、約100名の選手が競技をとおして楽しみながら、交流を深めました。



- 甲斐英彦(故 利行) 久4区
- 宇佐千代美(故 吉治) 多2区の2
- 田山行良(故 八千代) 久4区
- 平田羊子(故 伸良) 久6区
- 久保田シヨリ(故 光男) 多6区の2
- 山口格行(故 武雄) 多10区の1
- 黒1区
- 椎葉隆徳(故 俊太郎) 故 ミュキ
- 多5区2
- 星原マサ(故 一利)

次の方々から社会福祉のために
とご寄付をいただきました。皆さ
まの温かい善意に感謝申し上げます。皆さ
すとともに、故人のご冥福を心か
らお祈り申し上げます。
(敬称略・受付順)

